

- ◆企画名 結構かんたん！コミュカ基本の「ホ」  
日 程 平成 26 年 6 月 3 日 (火)  
場 所 総合学生会館凜風館 4 階 ミーティングルーム 2  
参加者数 11 名 (ピア・サポータ 4 名、研修生 2 名、一般学生 5 名)  
目 的

学生相談室やほっこり相談室の利用者には、大学で友人を作るタイミングを逃した学生もいる。そのような学生を対象とし、コミュニケーションに関する講演会を行う。最終的には、参加者に自分自身のマニュアルを作ってもらい、友達作りの「最初の一歩」を踏み出せるようになるきっかけを提供することを目的とする。

#### 内 容

- ① 講義「コミュカ基本の『キ』のおさらい」  
(主体的に他者と関わることについての重要性→コミュニケーションのプロセス→他者と相互に存在を認め合うことの重要性→自己紹介の意義)
- ②ワーク
- その1「自己紹介」 (2人1組での自己紹介の練習)
  - その2「へえ〜ゲーム」 (否定せずに互いに尊重し合うコミュニケーションの練習)
  - その3「あたたかい言葉」(互いにあたたかい言葉を伝え合い、相手の存在を肯定し心地よくさせる練習)
- ③まとめ  
④アンケート

#### 効 果

- 企画の形態について
  - ・KU サポーターズも参加者と共に楽しみながら取り組むことで、参加者同士の会話の潤滑油となることが出来た。
  - ・グループに分かれることで、参加者一人一人の個性が出しやすく、仲良くなりやすい雰囲気を作ることが出来た。
- 参加者について
  - ・参加者がリラックスしながら楽しんで参加されている様子だった。
  - ・本講座を受講したことにより自信が付き、以前より積極的になった様子が伺えた。

#### 改 善 点

- 企画の形態について
  - ・グループごとに盛り上がるの度合いが異なった。また、違うグループの学生と接する機会を取ることが出来なかった。  
→今後は、グループ以外の参加者とも交流できる参加者全体でのワークなどを取り入れることで、改善していくべきである。
  - ・参加者により、元々持っているコミュニケーション能力が異なる。そのため、ワークの際に、与えられたテーマを順調に遂行出来ない参加者がいた。  
→今後は、より多くの参加者に満足していただける様に、KU サポーターズメンバーが今まで以上にファシリテーションの意識を高く持つ必要がある。

#### 感 想

「結構かんたん！コミュカ基本の『キ』」から連続で来て下さった参加者に、前回よりも笑顔が増えた様子などが見られ、やりがいを感じた。中には、次回で講座が終了することへの寂しさなどを伝えて下さる方もおり、喜ばしい限りである。次回の講座も引き続き、参加者にリラックスしていただける空間作りを心掛けて実施していきたい。